

「池袋地区駐車・まちづくりマネジメントガイドライン」に基づく提案事業

サンシャインパーキングを活用したまちなか回遊促進事業

1. 池袋地区の将来像と目標
2. 池袋地区における駐車課題
3. 申請事業の内容
4. 助成申請費用
5. 展開の可能性

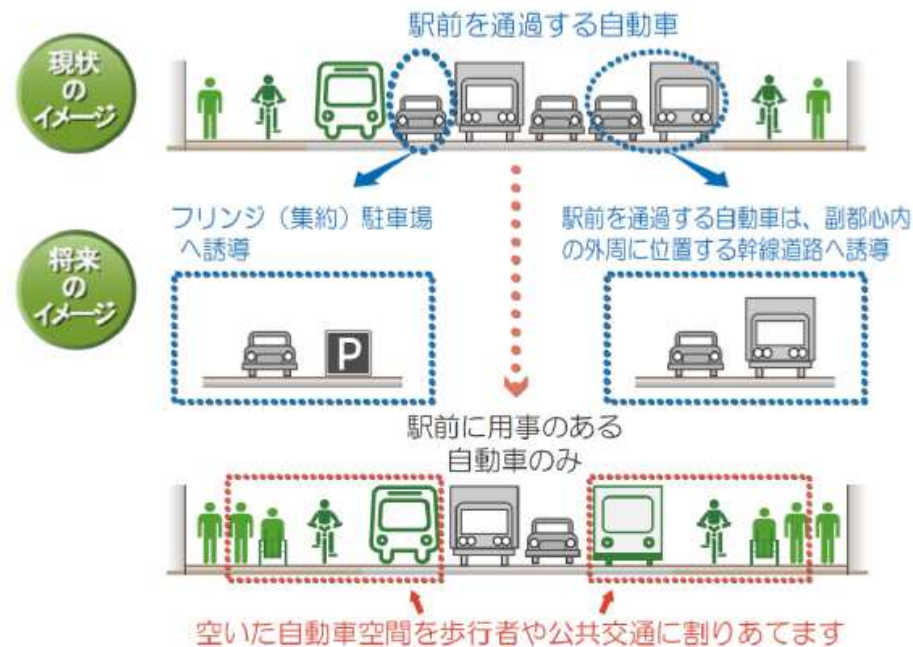
令和6年9月12日
WILLER EXPRESS(株)

1. 池袋地区の将来像と目標

(「池袋地区駐車・まちづくりマネジメントガイドライン」 p. 8)

◆池袋地区の将来像

駅からまちなかへの人の流れを生み出し、住む人、訪れる人にとって楽しいまちの実現



出典：池袋副都心交通戦略2020更新版

1. 池袋地区の将来像と目標

(「池袋地区駐車・まちづくりマネジメントガイドライン」p. 9)

◆ガイドラインの目標

- 池袋副都心中心部（池袋駅コアゾーン）に流入する自動車を抑制する
- 無秩序な自動車流入を整序化するため、自動車動線を集約する駐車場を配置・整備する
- 歩行者を優先する道路・街区に路上駐停車する貨物車両の受け皿となる場所を確保する
- 特に歩行者を最優先する道路・街区では、一般車両の通行を抑制し、駐車場の配置や出入口設置を制限する
- 駐車場内の空間活用により、新たなモビリティの利用に対応する

2. 池袋地区における駐車課題

(「池袋地区駐車・まちづくりマネジメントガイドライン」p.36)

- 本提案事業は、ガイドラインに示す駐車施設の運用に関する課題のうち、「【課題12】他のモビリティとの連携」に対応する取組みとして実施する。

＜駐車施設の運用に関する課題＞

- ✓ 【課題9】既存駐車場の活用
- ✓ 【課題10】夜間客待ちタクシー
- ✓ 【課題11】路上駐車施設の有効活用
- ✓ 【課題12】他のモビリティとの連携
- ✓ 【課題13】駐車場の空き状況の情報提供

【課題12】他のモビリティとの連携		対象地区：東口、西口、東池袋		
課題の内容				
・ 駐車場における自動車とその他のモビリティとの連携の強化が求められる。				
現状の対策				
・ 現状で対策は行っていない。				
検討事項・今後の対策案				
・ 東池袋一丁目地区再開発計画では、IKEBUS の運行拠点を整備する計画となっていることから、同再開発事業で整備予定の公共的駐車場との機能連携を図る。				
・ 既存駐車場の機能転換や空間活用による、他のモビリティとの連携方策を検討する。				
・ 都市開発事業に合わせて、更に多様化していく新たなモビリティとの連携強化を検討していく。				
				
図 モビリティハイメーシ				
出典：国土交通省資料				
目標（短期・中期・長期）		短期（6年後）	中期（13年後）	長期（2035年以降）
実施する施策		民間都市開発事業に合わせ機能確保を誘導		東池袋一丁目地区再開発においてIKEBUS の拠点整備
		駐車場の機能転換や空間活用による新たなモビリティとの連携を検討		
実施主体及び関係者		実施主体	豊島区、東池袋一丁目再開発組合、駐車場管理者	
		関係者	なし	

3. 申請事業の内容

(1) 事業概要

- サンシャインパーキングに駐車し、IKEBUSを利用してまちを回遊する場合に運賃を以下のとおり割引く。

1日乗車券（大人）500円 → 無料 ※1回乗車券は割引対象外

1日乗車券（小人）250円 → 無料 ※1回乗車券は割引対象外

- 利用者へのアンケートを実施する。

(2) 目的

- 『池袋駅から少し離れた場所にある「サンシャインパーキング」に駐車した方が、IKEBUSに乗り換えてまちなかを回遊する』という行動需要を検証
- 池袋エリアの回遊促進に向け、駐車場のモビリティハブとしての効果を検証
- 車での来街者の移動傾向の把握（1日乗車券の購入場所の把握）

3. 申請事業の内容

(3) 実施期間

令和6年11月～令和7年1月（3ヶ月間）

(4) 期待される効果

- 池袋副都心中心部（池袋駅コアゾーン）への自動車の流入抑制
- まちなか回遊行動の促進

(5) 運賃割引の流れ

Step1：サンシャインパークの利用者が、IKEBUSの乗務員に駐車券を提示

Step2：IKEBUSの乗務員が、駐車券に「確認済み」の旨が分かるスタンプ等を押印

Step3：1日乗車券（当日利用分）を無料で販売

(6) 本事業の周知方法

WILLER EXPRESS(株)によるPR活動の他、(株)サンシャインシティ及び豊島区にも周知のご協力を要請する。

4. 助成申請費用

(1) 設定条件

- 補填額：1日乗車券相当額（大人500円、小人250円）
- 想定組数：1日あたり4組
- 1組あたりの人数：大人2名、小人1名
- 実施期間：3ヶ月（92日間）（R6.11～R7.1）

(2) 助成申請費用

550,000円

【内訳】

① 割引補填額 460,000円

<算出式>

大人：500円×4組×2名×92日間＝368,000円

小人：250円×4組×1名×92日間＝92,000円

② PR費用 90,000円

(3) その他

- 実施に際しては、予算額を超過しないよう、執行額の管理（日単位での集計）を行う
- 執行額が予算額の一定量（8割程度）に達した時点で事業終了とする

5. 展開の可能性

本事業は、以下のような展開の可能性が考えられる。

- 路外駐車施設等における他のモビリティ（IKEBUS等）との連携
- シェアサイクルやLUUPなど多様なモビリティとの連携



図 モビリティハブイメージ

出典：国土交通省資料